



01



02



03



04



05



06

01/八戸市内から30分ほどペダルを漕げば、緑と青のコントラストが美しい種差海岸を眺めることができる。02/八戸市には、湧水地区が点在していて、大久喜でも発見。03/漁から帰ってきた男たちが風呂を浴びるため、早朝から開いている銭湯は港町ならではの。04/八戸鉱山を一般開放している展望台、通称「八戸キャニオン」。景色は壮大で一見の価値あり。05/陸奥湊駅の目の前にある朝市では、旬の魚介類や野菜が売られている。どれも獲れたてで安い！06/「ちょっと待って」と言っ、お母さんが切ってくれたウニ。スプーンで掏ってその場で豪快に食す。

コース8 八戸

走行距離:約44km 所要時間:約3時間

Heaven on Earth Ride

種差海岸の絶景と朝市の活気、静と動を求めて

8

- A** 陸奥湊駅前朝市
八戸市湊町(JR八戸線 陸奥湊駅)
- B** 道の駅はしかみ
三戸郡階上町道仏耳ヶ吹3-3
TEL:0178-88-1800
- C** 八戸キャニオン
(住金鉱業株式会社 八戸石灰鉱山)



太平洋に面し、全国有数の水揚量を誇る八戸市。西の津軽半島とはまた違った文化があり、南に進めばすぐ岩手県だ。

夜が明ける前から動き出している陸奥湊駅前の朝市では、ご飯とみそ汁を注文し、あとは市場に売られている魚や惣菜をその場で選んでおかずにする。焼き魚、イカの塩辛、佃煮、刺身、サラダや漬け物などの野菜、デザートには大福など、どれも食べてみたい。市場に活気が溢れているのは、「イサバのカッチャ」と呼ばれるパワフルなお母さんたちが源。「いらっしやい！」なんて声をかけてもらおうと、こちら

まで元気になる。

みゃーみゃーという鳴き声が響くウミネコの繁殖地・燕島を南下し、太平洋に突き出した葦毛崎展望台からはまっすぐな水平線を一望できる。真っ青な空を映した海と岩礁の織りなす風光明媚な景色、波が打ち寄せる白い砂浜、緑が広がる天然の芝生は、まるで「地上の楽園」。およそ5.2kmの種差海岸は、360°どこを眺めてもすばらしい。

海岸線から階上岳登山口まで登れば、あたりはのどかな田園風景。八戸の海と山に恵まれた大自然を巡るには、自転車のスピードがちょうど合っている。